

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

目次

☆工房ぶらす	2
☆活動報告	3
☆つぶやき	
・風の子会「今は昔」（岡本明）	4
・コロナが終わった時（信高正義）	5
☆風の子水先案内	6・7
☆夕会報告・牛乳パック	8
☆懐かしのアルバム	9
☆太田圭子さんの葬儀	10
☆賛助会のお礼・所長のため息	11
☆ギャラリー風の子	12



皇居の一本松

風の子のヒロイン、広瀬さんと職員石黒さんです。広瀬さんが一所懸命頑張って制作したイラストが今回裏表紙を飾っています。パソコンのイラストレーターというソフトを駆使して描いたトトロがほんとにかわいいですね。イラストだけでなく写真も好きな広瀬さん。これからどんどんいろんな作品を展開してくれるといいですね。



工房ぱらす

廣瀬 依生

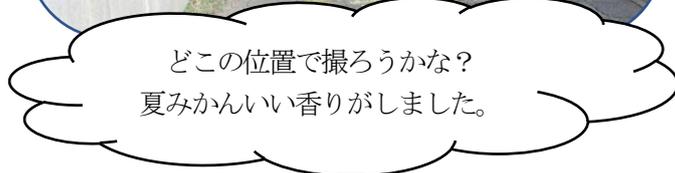
11月20日（土）シーバンスの隣の公園に夏みかんの木が咲いていた。
工房の皆さんと徒歩でお出かけをしました。
私は、晴れて寒かったけど、気分転換になったし夏みかんの写真も撮れたので嬉しかったです。
道が、ガタガタしてシャッターを押すことが難しかったけど頑張ってスマホのカメラを押すことができました。
皆さんも、ガタガタ道のなか一生懸命に写真を撮っていました。
久しぶりに皆さんと出かけられて嬉しいです。



写真を撮っています。



夏みかんの木が咲いています。
秋なのに笑



どこの位置で撮ろうかな？
夏みかんいい香りがしました。



自分の自撮り笑

11月の売上

港区役所にある福祉売店《はなみずき》のランキングは、クリスマスブローチが嬉しいことになんと1位でした！！イエーイ👏売上は、14個売れました。

和紙ハガキは、3位で売上は、6枚売れました。

クリスマスキーホルダーは、5位でした。売上は、5個売れました。

今回の売り上げがうれしかったのでこのまま1位になれるように工房の皆で頑張りたいと思います！頑張るぞー！



活動報告 10月30日から11月30日まで

メンバー島田龍司

掛橋さんからジョーンズ・ヴィンセントさんにお礼の花束。10月30日



《10月30日》

10月30日をもって職員のジョーンズ・ヴィンセントさんが退職されました。

《11月8日》

メンバーの三木さんと幸さんと職員の小林さんと平沼さんの4人で皇居に散歩しに行きました。

真剣にメンバーの話を聞いています。11月10日



《11月10日》

企画会議をしました。議題は12月の記事分担について話し合いをしました。12月号から新しく「ギャラリー風の子」と言うコーナーをやる事になりました。12月号から最初のイラスト作品をメンバーの廣瀬さんが担当する事に決定しました。

《11月15日》

メンバーの掛橋さんと信高さんと斎藤さんと朝生さんと野田さんと《島田》と職員の小林さんと木村さんと平沼さんと井出さんの9人で皇居に散歩しに行きました。

《11月24日》

企画会議をしました。議題はカレンダーの販売と会報のカラー化について話し合いを行いました。話し合いの結果、表のページと裏のページだけカラー印刷にしました。今後は、2枚に増やすと言う意見がありましたのでそこについては次回の企画会議で決める予定です。



警視庁さん。いつもアニメやドラマで見えています。11月15日



風の子会 イベント、仕事「今は昔」 岡本 明

風の子会は再来年、創立45周年を迎えます。この間、風の子会もずいぶん変わってきました。とくにここ1、2年はコロナ禍もあって、活動が大きく制限されるなど、おおきな変化があります。昔は良かったなあ、というのは年寄の決まり文句ですが、昔やっていたことをちょっと思い出してつぶやいてみたいと思います。

まず最近できなくて残念だなと思うのは「ふれあいバザー」です。表参道の交差点にある銀行前という、バザーには最高の場所で月に1回開いていました。表参道は人通りも多く、外国の方もよく立ち止まって買ってくれました。これは、先日亡くなった太田圭子さんが銀行の支店長と直接交渉して場所を使う許可を得てくれたのです（「私はおたくの預金者よ」と言って談判したとか）。太田圭子さんはバザー品集めからボランティア募集など、中心となって尽力してくれました。

このふれあいバザーは風の子会の活動資金獲得に役立ち、また活動を知ってもらうためにも大切な行事でした、波多野順二さん・栄子さんご夫妻ほか、バザーに立ち寄ってくれたことをきっかけにその後も長くボランティアとして風の子会にかかわっていただいた方もおられます。「チャリティだから」と言って100円のを1,000円で買ってくださいる方もありました。骨とう品などの価値が分からないので300円の値段をつけていたら、「これ、本当は5,000円くらいするものよ」などとお客さんから教えてもらうこともありました。

ふれあいバザーはバザー品集めが大変だったり、保管する倉庫代もかかりましたが、地域の方との交流、障害のある人への理解促進などに大きく役立つので、またぜひ再開したいことの一つです。

「ふれあいバザー」のほか、「古新聞紙回収」、「外に出よう」、「1泊旅行」なども最近はできなくなりました。残念ですが、ボランティアも少なくなってしまった現状では再開はなかなか難しいかもしれません。

日常の作業でも、最近やらなくなったのは、「ウエス」づくりです。「ウエス」というのは英語のウェイスト（waste、つまり、くず、ぼろ）がなまった言葉で、自動車工場などで油を拭くために使う布切れのことです。古いワイシャツ、メリヤス布などを寄付してもらって、メンバーがハサミや手で適当な大きさに切って作りました。力もけっこう必要で、ハサミが使える人も少なかったので、職員がかなり手伝わないとできない仕事でした。最近ではウエス専門業者がいいものを安く提供しているようで、風の子会ではなかなか競争できないかもしれません。割りばしの袋入れも長く仕事をくださったところの都合でなくなってしまうね。

時代とともにいろいろなことが変わってきます。これからも風の子会はどうなっていくか、楽しみですね。



コロナが終わった時の行動

メンバー 信高正義

コロナウイルスの終息宣言が出て、自由行動が取れるとなったら、自分はどうするだろう。と、思う。身体がまともに動けばもう一度働いてみようという気になったかもしれないが、普通に動けない今の体では返って周りの人に迷惑を掛けてしまっただけでは無くなってしまおう。

ゆえに障害者を対象としたアルバイト等がよいのだが、なかなかそんな都合のいい仕事などすぐに見つかる筈も無いのだが、自分の家と生活をサポートしてくれているヘルパーの紹介で「風の子会」と言う「生活実習所」へ通所する事となった。

ただ、ヘルパーのサービスはサービスを求めている人の日常生活に限られているが、それは自分から、あまり仕事内容の事を話さなかった事もあった。それは一年前の事だったがもっと早くこのサービスの事を知っていればよかったのにと、後悔の念に悔やまれる。しかし、この様な後付けな行政の構造はやむをえないのだろうと、自分は思う。



筆者の信高さん

☆ 風の子水先案内 ☆

～ 2021年11月の出来事 ～

・11月運営委員会報告

○葬儀参列

→11月5日、太田圭子さんの葬儀に風の子会を代表して6名が出席した。感染対策を徹底して参列し、故人の冥福を祈った。

○職員体制

→非常勤職員が一人減った分、トイレ介助体制を変更した。

○防災関連

→今月の防災食試食についての説明があった。

○会員制度について

→風の子会の一般会員について定款を照らし合わせながら再確認した。変更する場合は、総会での承認が必要である。

○災害対策

→もし、地震発生後にビルのエレベーターが停まってしまったら、どのように対応するのか等、災害発生時の対策について再検討した。→今後も継続議論していく。

・インフルエンザ予防接種

→11月16日と19日の2日間で、メンバーと職員のインフルエンザ予防接種を行った。コロナ感染は落ち着きつつあるが、終息ではなくまだ油断はできず、できる予防はできるかぎりすべきである。



予防接種を受ける掛橋さん

・お散歩スナップショット
(今回、ページが余ってしまったので、
急遽の穴埋め企画です。あしからず)

11/15
皇居散歩



皇居でみんな
ハイチーズ!!!



文責 運営委員・小野塚

1995年8月10日第三種郵便物認可（毎週一回水曜発行）
2021年12月18日発行SSKS増刊通巻第8369号 風の子便り



夕会報告

メンバー 柳川敬事

【11月13日土曜日】風の子会で夕会を行った。テーマは散歩とクリスマス会だ。みんな、で話し合いをした。意見はたくさんあった。司会は広瀬さんだ。クリスマス会を「やめた方がよいという意見もあったが話し合いの結果、パーティーをやる事になった。12月25日土曜日の14時に小さなクリスマスパーティーを開く。

散歩は当日に行きたい人が行く。行かない人は行かない。

【11月27日土曜日】風の子会で夕会があった。テーマはクリスマス会と散歩だ。みんなで話し合いした。1つ目はクリスマス会だ。みんなにケーキのチラシを見せた。いろいろなカップケーキを頼む事になった。飲み物はお酒じゃなくて紅茶とコーヒーにした。2つ目は散歩だ。

井出事務局長さんから質問した。「来年からメンバー1人で散歩はどうだ」と言った。みんなで意見を述べた。敬事、「散歩はみんなで行った方がいい」と言った。島田、「散歩は1で行った方がいい」と言った。散歩の話は次回の夕会です。



夕会の司会をしている広瀬さん（右）と小林さん（左）



ぎょうにうぱっく まいにおんれいについて

みなさんのおかげで、ぎょうにうぱっく
がいはいに なりました。

しばらくあいだ、ぎょうにうぱっくの

ほむうは中止（す）。ありがと

ございました。ほむう、はじまるときには、

かいほうで、おしらせします。

風の子会より



風の子・なつかしのアルバム



この写真は、僕と仲が良くさせていただいていた、佐久間庸さんです。庸さんとは、僕の家で東京湾大花火大会を見に来たり、酒を飲みに行ったりして、いつも、冗談ばかり言い合う僕の仲間でした。今でも忘れることは出来ません。



掛橋さんは「外に出よう in 横浜」で、僕と一緒に実行委員を行って、それ以来仲良くさせてもらっています。「なつかしのアルバム」を僕が担当するのはこれで最後となります。ご観覧していただきありがとうございました。

メンバー 田中 聡





葬儀に参列して

11月5日（金）12時から横浜の大山ねずの命神示教会の清明会館にて太田圭子さんの葬儀が執り行われました。風の子会からは全員で参列したかったのですが、コロナ禍ということもあり代表者のみで参列しました。式には風の子会のボランティアの方、元職員の方も参列しており、圭子さんがいかに皆から愛されていたかが分かるような葬儀でした。

ご家族、ご友人からの挨拶の後、喪主である太田稔さんの挨拶がありました。最愛の妻を亡くして悲しみに暮れる中、気丈に、そして圭子さんへの愛が感じられる挨拶でした。

最後にお花入れをおこない、みんなで圭子さんと最後のお別れをしました。とてもきれいで穏やかな顔をしていました。亡くなってしまったことが信じられない、今にも「おはよう」と言ってにこやかな笑顔を見せてくれるような感じでした。

その後、臨海斎場に向かうのですが私たちは清明会館でお別れをしました。会としては、代表者のみの参列となりましたが、最期にお別れが出来てとても良かったです。

旅行の宴会にて
(2010)

岡本 裕介所長



35周年パーティー
にて(2013)

作業所にて
(1993)



賛助会（寄付）・物品寄付のお礼

賛助会（寄付）ありがとうございます。（11月1日～12月10日）（順不同）

東京清涼飲料水工業組合様 井出 みどり様 匿名様1名様

物品寄付ありがとうございます。（11月1日～12月10日）（順不同）

山崎 真理子様

●5月号で賛助会の募集を行いました。皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしくお願ひします。

賛助会実績（12月10日現在） 86名 5,290,000円



所長のため息

10月号から会報の一部をカラーにして発行することにしました。会報をカラーで発行することは、企画の長年の夢でした。全ページをカラーにして出したいのですが、どうしてもコストがかかってしまいます。そこで一部をカラーにして発行しました。カラーになった会報を見た時、みんなとても喜んでいました。会報をカラーにしたことにより、人の目にもつきやすくなり、風の子会をみんなに知ってもらえるチャンスです。今後は、中身も今以上に充実させて、風の子会のファンをたくさん作っていきたく思います！

11月号からQRコードを会報に載せています。スマートフォンで読み取ること風の子会のホームページを見ることが出来ますので、ぜひホームページもご覧下さい。

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	三木 直人
小野塚 航	柳川 敬事
島田 龍司	幸 高史
田中 聡	

表紙デザイン：小野塚航

編集人：【高浜生活実習所】生活介護
〒105-0022

東京都港区海岸2-6-29 平成海岸ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

HP：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102





タイトル
晴れた虹とトトロ



私の好きな歌に“にじ”という曲があります。
雨上がりに晴れた空を思い浮かべてこの
絵を描きました。ジブリが好きなので
“トトロ”にしてみました。一日ではなく、
2か月くらいかかりました

